

唐長 タイル

歴史ある文様が今なお新しい。

X-iS
BEYOND TILES

×





雲母唐長(KIRA KARACHO)は、創業寛永元年(1624年)日本で唯一途絶えずに11代続く唐紙屋「唐長」の

千田長右衛門と千田愛子がプロデュース、次世代を担う唐長を継承するブランドです。

唐長には、先祖代々伝わる板木が花鳥風月や幾何学文様などさまざまなものが六百枚以上あります。

代々受け継がれた板木からひとつひとつ手仕事で和紙に文様を写し取り、襖紙や壁紙として桂離宮、二条城、養源院などの

歴史的建造物や、今を彩る現代の人々の暮らしにおいても唐紙は用いられています。

その一方で、ライフスタイルの変化に合わせた新しい取り組みも行っています。

唐長の唐紙を広く世界に伝えるとともに、紙以外の異素材や他者とコラボレーションしたプロダクトを発表するなど、

文様と色の美を通じて人々の暮らしを豊かにしたいとの思いをこめたモノづくりをしています。

Established in Kyoto, 1624, KARACHO is the only Karakami atelier in Japan that has remained in existence since the Edo period. KIRA KARACHO is the brand produced by the husband-and-wife team of CHOUEMON SENDA and AIKO SENDA, who is the eldest daughter of the 11th generation owner of KARACHO.

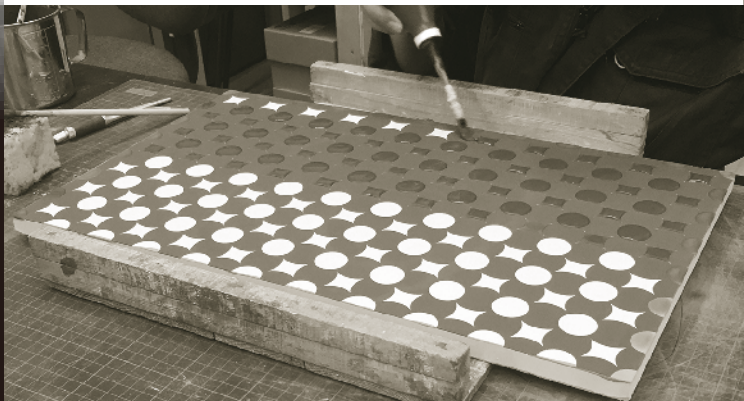
Their artistry has expressed the beauty of Japanese culture through wallpaper and sliding door paintings that has graced cultural treasures as well as modern interiors.

All their karakami have been hand-printed on Japanese papers with woodblocks handed down from generation to generation. They own more than 600 woodblocks.

Providing the charm of karakami to the world, they have created products which use materials other than paper to enrich people's lives with the beauty of Karakami designs and colors.

手仕事だから叶う本物の良さ。

その昔から、襖紙や壁紙として人々の暮らしの中に彩られている文様を、現代のインテリアの一部として、タイルに取り入れてみました。単なる転写ではなく、唐紙から図案を写しとって版を作り、様々な印刷技術を駆使して再現を試みました。例えば、和紙に写しとった文様に現れる独特の質感は、鉱物を粉状にした雲母によるものです。タイルにおいても雲母を用いてその質感を表現したり更に、タイルならではの質感や重厚感を追求しました。歴史ある唐長の文様を耐久性に優れたタイルに表現し、暮らしの中にご提案します。



唐紙は、顔料に雲母や胡粉などを混ぜ合わせ「ふるい」とよばれるガーゼを張った道具で板木に色をのせます。優しく手で撫でるように和紙に色を写しとることで、乾くとほのかに立体感が生まれ、印刷では出せない独特の風合いが生まれます。タイルにおいては、シルク印刷の技術を用いて、釉薬や絵具を一枚づつ手作業で印刷し、時には筆を使って直接釉薬を濃みこみます。

角つなぎ

組紐にルーツを持つ文様です。終わることなき、

浮き沈みの連続は、人生観、運命感を表し、連綿と続く命のつながり、繁栄を表します。

This motif originates from Kumihimo, which are traditional plaited cords now normally used as a Kimono accessory. During kumihimo's knotting process, multiple cords are repeatedly stacked over each other to form a line of knots. The continual shift of the cords during this procedure is what provides the motif's meaning of transformation and prosperity.

大牡丹

しあわせと富貴の象徴。

花の王と言われる牡丹ですが、とりわけこの牡丹文様は雄大で華やかなものです。

Peonies have traditionally been preferred as a symbol of wealth and honor, as well as the seal of a supreme ruler. Of the different peony motifs, Obotan is particularly splendid and gorgeous.

天平大雲

雲魂を細い尾で連結した連雲であり天上に大きくうねる雲はとても縁起の良い瑞雲です。

雲は雨を呼ぶことから実りと豊穡を表し、良き事を呼び寄せ運氣上昇を願うものでもあります。

The interconnected, swirling clouds with thin tails represent good fortune. Clouds cause rain and thus represent fertility.

天井格子

唐花を菱形や四角などにいれたものを角花とも呼ぶ。

格子は、魔除けを意味し、菱には繁栄の意味があり、唐花と十字文を櫛文に組み入れた美しい花クルスの文様。

A flower motif is placed in a checkered back ground. The western-style flower in this pattern is called hanakurusu, which is a designed combination of a flower and a cross. The checked pattern protects people against evils and the shape of diamonds symbolizes prosperity.

南蛮七宝

エキゾチックな幾何学的魅力あふれるパターンは、円の

ようにも、星のようにも、花や十字のようにも見える

この文様は、幸せが四方八方へと繋がる縁起文様です。

This motif raises images of circles and stars, or flowers and crosses. This auspicious pattern symbolizes the diffusion of happiness in various directions.

壁 用 タイル

角つなぎ [KA]

南蛮七宝 [NA]

大牡丹 [BO]

天平大雲 [KU]

天井格子 [KO]

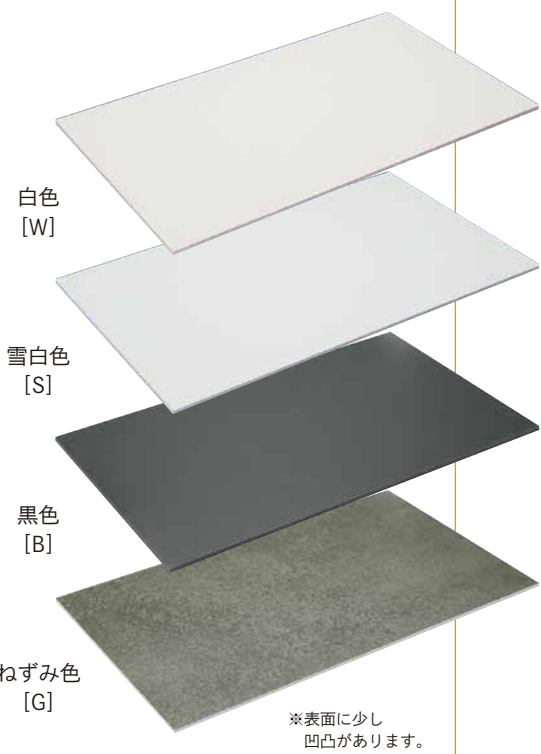
■BASE TILE：磁器質タイル

285×470×t5.6 mm 7.4枚／㎡(3mm目地)

347×470×t5.6 mm 6.1枚／㎡(3mm目地)
(天井格子のみ)

※特注で 3.5 mm厚にも対応します。

※受注生産品



白色 + ゴールド雲母入り KA-W/GOK



白色 + ゴールドマット NA-W/GOM



白色 + ブラック BO-W/BLB



白色 + ゴールド雲母入り KU-W/GOK

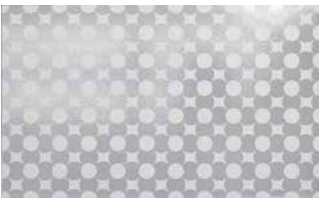


白色 + ブラック KO-W/BLB

¥15,500 / 枚



雪白色 + シルバーブライト KA-S/SIB



雪白色 + シルバーブライト NA-S/SIB



雪白色 + シルバー雲母入り BO-S/SIK



雪白色 + シルバーマット KU-S/SIM

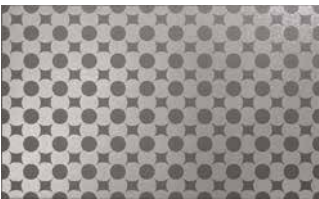


雪白色 + シルバーブライト KO-S/SIB

¥15,500 / 枚



黒色 + グレーブライト KA-B/GRB



黒色 + グレーブライト NA-B/GRB



黒色 + グレーブライト BO-B/GRB



黒色 + グレーブライト KU-B/GRB



黒色 + グレーブライト KO-B/GRB

¥15,500 / 枚



ねずみ色 + シルバー雲母入り KA-G/SIK



ねずみ色 + シルバー雲母入り NA-G/SIK



ねずみ色 + シルバー雲母入り BO-G/SIK



ねずみ色 + シルバー雲母入り KU-G/SIK



ねずみ色 + シルバー雲母入り KO-G/SIK

¥17,000 / 枚

■COLOR：

- ゴールド（雲母入り）[GOK]
- （ブライト）[GOB]
- （マット）[GOM]
- シルバー（雲母入り）[SIK]
- （ブライト）[SIB]
- （マット）[SIM]
- グレー（ブライト）[GRB]
- ブラック（ブライト）[BLB]



ゴールド（雲母入り） GOK

¥13,500/ 枚
※¥15,500/ 枚



ゴールド（ブライト） GOB

¥12,500/ 枚
※¥14,500/ 枚



ゴールド（マット） GOM

¥12,500/ 枚
※¥14,500/ 枚



シルバー（雲母入り） SIK

¥13,500/ 枚
※¥15,500/ 枚



シルバー（ブライト） SIB

¥12,500/ 枚
※¥14,500/ 枚



シルバー（マット） SIM

¥12,500/ 枚
※¥14,500/ 枚



グレー（ブライト） GRB

¥12,500/ 枚
※¥14,500/ 枚



ブラック（ブライト） BLB

¥12,500/ 枚
※¥14,500/ 枚

※は 347×470 mmサイズの価格です。

壁・床用タイル タイル生素地に文様をシルク印刷(または+濃みこみ)を施した後、1300℃の高温一度焼成で仕上ます。

■BASE TILE：せっ器質タイル

285×470×t15 mm 7.3枚／㎡(5mm目地)

※受注生産品



無地 ¥5,200 /枚

■COLOR

しろがね素地



白釉 [WS]
シルク印刷
¥8,000/枚



白釉 [WSD]
シルク印刷+濃みこみ
¥13,000/枚

くろがね素地



黒釉 [BS]
シルク印刷
¥8,000/枚



黒釉 [BSD]
シルク印刷+濃みこみ
¥13,000/枚

■PRODUCTION TECHNIQUE



【濃みこみ技法】
撥水剤をシルクスクリーンで印刷した後、釉薬をどっぶり付けた筆やスポイトを使って、撥水剤の輪かくの中を濃みこんでいきます。こうする事でこんもりと釉面が盛り上がり、焼き物らしさが表現できます。



【シルクスクリーン印刷】
インクが通過する穴とインクが通過しないところを作ることで版を製版し印刷する技法です。スキージーというゴムベラを押し当てながら一定方向に動かし、一枚づつ職人が仕上げます。

角つなぎ [KA]

南蛮七宝 [NA]

天平大雲 [KU]



しろがね+シルク印刷 KA-WG/WS



しろがね+シルク印刷+濃みこみ KA-WG/WSD



くろがね+シルク印刷 KA-BG/BS



くろがね+シルク印刷+濃みこみ KA-BG/BSD



しろがね+シルク印刷 NA-WG/WS



しろがね+シルク印刷+濃みこみ NA-WG/WSD



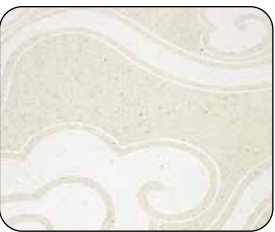
くろがね+シルク印刷 NA-BG/BS



くろがね+シルク印刷+濃みこみ NA-BG/BSD



しろがね+シルク印刷 KU-WG/WS



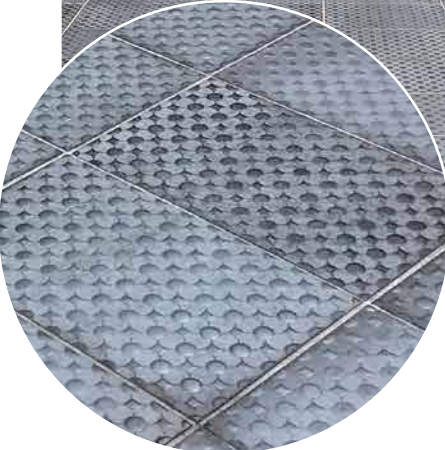
しろがね+シルク印刷+濃みこみ KU-WG/WSD



くろがね+シルク印刷 KU-BG/BS



くろがね+シルク印刷+濃みこみ KU-BG/BSD



くろがね素地に
南蛮七宝模様を黒釉で
シルク印刷+濃みこみ
NA-BG/BSD



雲母唐長(KIRA KARACHO)とは、日本で唯一途絶えずに11代続く唐紙屋「唐長」の千田長右衛門と千田愛子がプロデュース、次世代を担う唐長を継承するブランドです。

代々受け継ぐ寺社仏閣の唐紙制作や商業施設、ホテル、旅館、個人邸などの襖、壁紙、屏風、アート作品等、あらゆる唐紙制作を手がけています。また、唐長の唐紙を広く世界に伝えるため、紙以外の異素材や他者とコラボレーションしたプロダクトを発表するなど、文様と色の美を通じて人々の暮らしを豊かにしたいとの思いをこめたモノづくりをしています。

KIRA KARACHO is the brand produced by the husband-and-wife team of CHOUEMON SENDA and AIKO SENDA who is the eldest daughter of the 11th generation owner of KARACHO.

They produce many kinds of custom-made Karakami to provide to temples, shrines, commercial facilities, hotels, residences and more.

Providing the charm of Karakami to the world, they have created products which use materials other than paper to enrich people's lives with their beauty of Karakami designs and colors.



<https://kirakaracho.jp>

千田 長右衛門

Chouemon Senda

Photo by Carl Bergman



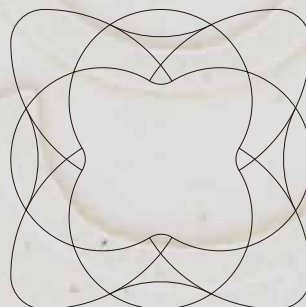
唐長の文化を継承する唐紙師。現代の暮らしに合うさまざまな唐紙のオーダーをアトリエ雲母唐長(KIRA KARACHO)にて制作するとともに、唐紙の芸術性を追求し、点描とたらし込みを融合させ自らの指で染めていく千田長右衛門独自の技法「しふく(Shifuku)刷り」や「風祈」と呼ばれる技法から生まれるアート作品は、美術館にも収蔵、展示された他、寺社仏閣、公共・商業施設、個人邸宅など、さまざまな場に納められている。名刹養源院に奉納されたアート作品「星に願いを」は、俵屋宗達の重要文化財「唐獅子図」と並んでいる。同寺にある俵屋宗達の重要文化財「松図」の唐紙修復も手がけており、伝統の継承を行いつつ、現代アートなる唐紙の世界を築き、前人未踏の道を切り拓いている。

千田 愛子

Aiko Senda



1624年(寛永元年)創業の唐紙屋「唐長」11代目 千田堅吉の長女。11代目より唐長のDNAとしての色彩感覚を一番受け継いでいると認められた感性を活かし、幼少期より培われたその類希なる色彩感覚により、唐長の新境地として、従来の壁紙、襖紙の世界からカードの世界を開拓。10代の頃から発表し続けている千田愛子の唐紙カードの世界は、幅広い世代で好評を博している。2004年からコゴン鳥丸にて、千田愛子プロデュースによるKIRA KARACHOショップをスタート。唐紙師として唐紙制作はもちろんのことより、唐紙師である夫トリアキヒコと共に、唐長を世界と後世に伝える活動をしている。



X-is

BEYOND TILES

株式会社エクシズ

〒507-0071

岐阜県 多治見市 旭ヶ丘 10-6-55

TEL : 0572-20-0711

FAX : 0572-20-0722

<https://x-is.co.jp>